

# Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより  
第34号

## ななえ古写真物語

VOL. 34

### 明治の牧柵

~西洋式の牧場~

明治10年ころ

本町地区



nanae historical  
museum collection

明治3年、当時七飯町の土地を所有していたプロシア（ドイツ）人のR・ガルトネルから取り戻した土地を基盤に、開拓使の試験農場が設置された。通称「七重官園」と呼ばれたこの農場では、農業だけではなく、林業、牧畜、加工業など多岐にわたる事業を展開し、日本が近代化を推し進めていく上で、重要な役割を果たしたといわれている。過去に発行している「ななえ古写真物語」でも、その様子を何回か紹介してきたところだが、今回の写真は、牧柵が写されている一枚を紹介する。

上の写真に写っている牧柵は木製で三ヶ所の穴をあけた柱に、横木となる棒を渡した簡単な作りであるが、この横木はスライドさせると取り外しが可能で、好きな部分から出入りすることが出来るという便利なものである。日本においては、明治時代以降にこの牧柵が普及し始めたことから、こういったスタイルの牧柵のことを「明治の牧柵」という呼び方をすることがある。

誰が、七飯町にこの牧柵の作り方を伝えたのかはわかっていないが、開拓使が関る牧場では、一般的なスタイルとして、普及していることがこの写真などで窺い知る事が出来る。

さて、同様の牧柵は、札幌市真駒内にあるエドウィン・ダン記念館のそばでもみることが出来る。エドウィン・ダンという人物は、開拓使の御雇い外国人として、農業全般と特に畜産の指導に尽力した人物で「北海道酪農の父」と称されるほど、日本の酪農の発展に功績がある人物で、七重官園でも、半年ほど滞在し、日本で初めてとなる馬の去勢手術法を伝授した。さらに、この短い滞在期間中に日本人女性と恋に落ち、後にその女性と結婚したという逸話も残っている。証が無いので大きなことは言えないが、個人的には、エドウィン・ダンがこの「明治の牧柵」の作り方を伝えていたのではないかと考えているし、またそうであってほしいとも願っている。

そんなことを考え、最近、当館そばの杉林にある第2野草園のまわりに、この牧柵をまね、囲いを巡らせた。なかなか写真どおりには出来なかったが、一度見ていただければと思う。

私にとって「明治の牧柵」は、これまで鉄の鎖でかたくなに外国から身を守ろうとしてきた日本が、ボーダー（国境）を一部取り外し、世界へ飛び出していく姿のように感じるのだが、それは、おそらく考え過ぎなのだろう。



## 4日

横津の植物観察会を開催しました。

当日は天候に恵まれ気温も高く、9月だというのに汗ばむほどでした。植物専門家の先生を講師にお招きし、約2時間半、高山植物などについて解説していただきながら散策しました。頂上付近には、七飯町で最も高い位置にある「雲井沼」があり、水面に青空が映ってとてもきれいでした。



## 5日

世界にひとつだけのジャムづくりを開催しました。使用した、「たむらリンゴ」は歴史館見本園で栽培しており、七飯町にしかない珍しい品種です。材料は、リンゴと砂糖とレモン汁のみと非常にシンプルですが、リンゴの味と食感を生かしたジャムに仕上がりました。オリジナルの手作りラベルも作って貼りました。...食べるのがもったいなくなっちゃうかな？

焦がさないように



完成です



## 23日

ふぁみりーでいみゅーじあむで、月見だんご作りをしました。上新粉と白玉粉を、水を入れてよ〜くこねたら、手の平で丸めます。沸騰したお湯に入れて、浮いてきたら冷水に入れます。おだんごを10個積み上げると積みだんごの完成です。爪楊枝におだんごをさして手作りのたれをかけたならみんなで、いただきま〜す！ できたてのおだんごは、もちもちとした食感が楽しく、砂糖としょうゆと片栗粉で作った、甘いたれも好評でした。



協力してがんばろう！



## 25日

9月のジュニア探検クラブは、草木染めをしました。始めにさらしに輪ゴムをしばって模様をつけます。5月にまいたマリーゴールドの花をつんで、鍋で20分ほど煮た後、ざるでこして染液をとり、さらしを入れて40分程煮ました。そして火を止め20分後、ミョウバン少量を混ぜた水に軽くひたして色を定着させます。輪ゴムをとると...ちゃんと模様が出ています！子ども達はお互いの模様を見せあって、盛り上がっていました。マリーゴールド摘み(各班2kgずつ!)や染液独特の匂いとのかいを乗り越え、出来上がった草木染め手ぬぐい。ぜひ使って下さいね。



鍋パーティーみたい...



鮮やかな黄色！



## 11月の予定

1	月
2	火
3	水 文化の日
4	木
5	金
6	土
7	日
8	月
9	火
10	水
11	木
12	金
13	土
14	日
15	月
16	火
17	水
18	木
19	金
20	土
21	日
22	月
23	火 勤労感謝の日
24	水
25	木
26	金 収蔵展OPEN予定
27	土
28	日
29	月
30	火

11月の休館日はありません

館外展を開催しています。

10月14日～11月14日まで、大沼国際交流プラザで「大沼のあしあと」を開催しています。古写真を通して大沼の歴史をお楽しみ下さい。(A)



### 編集後記 ~tawagoto~

先日、七飯町と姉妹都市提携を結んでいるコンコードという町に行ってきた。とても広く歴史のある町で、時間もゆったりしているように感じられた。大沼を彷彿とさせる湖や多くの鳥が見られる点など、なんとなく七飯町に似ている気がした。人も寛容かつ穏やかで、なんとなくホッとする空気に満ちていた。

つくづく良い旅だったと思う。そう、私が英語を話せなかった事以外は・・・。(やまだひさし)

Richard ~ピチャリ~ 第34号

平成22年10月20日 発行

七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail: rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp